

# 令和元年度 第27回 静岡県図書館大会

- ◆ 日時 令和元年11月18日(月) 9:45~15:45 (受付 9:20~9:45)
- ◆ 会場 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ
- ◆ 主催 静岡県教育委員会・静岡県図書館協会・静岡県読書推進運動協議会
- ◆ 目的 図書館や読書活動の関係者が集まり読書活動の一層の推進を目指して研修し交流を深める。
- ◆ 団体申込期間 8月9日(金)~9月11日(水)  
第3分科会のみ 8月9日(金)~11月8日(金)  
※ 午前の講演・対談と午後の第3分科会は磁気テープと手話通訳・要約筆記があります(要申込)。  
(一般申込期間は 9月18日(水)~10月18日(金)になります。)



- ◆ 開会式・表彰式・情勢報告 9:45~10:40  
情勢報告 公益社団法人 日本図書館協会 理事長 小田 光宏 氏

- ◆ 講演・対談・諸連絡 10:50~12:45

テーマ「ソーシャル・イノベーションを巻き起こす図書館へ」

前半は図書館と地域をむすぶ協議会で様々な試みをされている太田氏に、全国での実践例を踏まえて講演していただきます。後半は、林氏との対談を通じて図書館が地域の力を引き出し、地域を変えられるように講演内容をさらに深めていただきます。

太田 剛 氏

( 図書館と地域をむすぶ協議会チーフディレクター、慶應義塾大学講師、編集工学機動隊 GEAR 代表 )

1965年生まれ。明治大学農学部農学科卒業。高校理科教員等を経て、1990年より編集工学研究所にて、実践チームGEAR事業部を統括。2004年より慶應義塾大学講師。2012年に編集工学機動隊GEARを設立。現在は、図書館を地域づくりの核として位置づけ、新しい社会循環モデルの構築、ICTの有効活用による地域コンテンツと人材のアーカイブ化などをコーディネートする「図書館と地域をむすぶ協議会」を設立し、全国を奔走中。

林 左和子 氏 ( 静岡文化芸術大学文化政策学部教授 )

図書館情報大学大学院図書館情報学研究科修士課程修了。東京家政学院大学付属図書館、横浜国立大学国際開発研究科(資料室担当)、大谷女子大学文学部、静岡文化芸術大学文化政策学部助教授、准教授を経て、2011年より同学部教授。日本図書館情報学会、図書館文化史研究会、児童図書館研究会、絵本学会に所属し、静岡県読書活動推進会議委員長を務める。著書に『児童サービス論』『図書館人物伝』『セイヤーズの児童図書館マニュアル』『アメリカの児童図書館・学校図書館』がある。

## ◆ 分科会 13:45～15:45

### <第1分科会 図書館サービス①>

「図書館の防災を考える ～大災害から人と資料を守るために～」

講師 川島 宏氏

(株式会社栗原研究室 代表/日本図書館協会図書館災害対策委員会・図書館施設委員会 委員)

災害が発生したとき、図書館には何ができるのでしょうか？また、その日のためにどのような備えをしておくべきでしょうか？日本図書館協会図書館災害対策委員会の川島氏に、建築士としての視点から、被災地の事例も交えてお話しいただきます。

### <第2分科会 図書館サービス②>

「図書館とスポーツ ～Read BOOK Lead ACTIVE 読書でもっとアクティブに～」

講師 木間 奈津子氏

(独立行政法人日本スポーツ振興センター情報・国際部企画運営課

JAPAN SPORT NETWORK プロジェクト 早稲田大学スポーツビジネス研究所招聘研究員)

一見、両極にあるように見える「図書館とスポーツ」。

JSC の調査では、図書館利用者であまりスポーツをしない人が約半数、逆にスポーツ実施者で図書館未利用者は8割強です。今回は、図書館とスポーツの連携によって相互の参加者・利用者の増加を目指すアプローチについて一緒に考えたいと思います。

### <第3分科会 大人の読書活動>

「大人の読書活動 ～逆のものさし講～」

講師 清水 克衛氏 (書店「読書のすすめ」代表及びNPO法人読書普及協会会長)

「読書のすすめ」という一風変わったお店があります。全国から読書の悩みを抱えた方々に、本の力を伝えているお店の店長さんは、本のソムリエです。読書の良さ、力強さを糧としてお店を開きました。ぜひこの機会に、あらためて本に持つ力について一緒に考えてみませんか？

### <第4分科会 児童・YAに対するサービス>

「YAの読みたい心に火をつける！

～「イマドキの子ども」と「本」を繋ぐために、図書館ができること～

講師 木下 通子氏 (埼玉県立浦和第一女子高等学校担当部長兼主任司書)

YA世代をもっと図書館に引きつけたい！では、具体的にどう取り組めばよいのでしょうか。学校司書として接している高校生とのエピソードや、「埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本」の取り組みによって生まれた公共図書館や書店との連携の話をもとに、自分たちになにができるのか熱く考えてみましょう。

### <第5分科会 学校図書館>

「やってみよう！ブックトーク ～授業に使える司書教諭・学校司書の技～」

講師 石橋 幸子氏 (東京学芸大学講師、武蔵野大学講師)

国語の授業の発展的読書として、総合学習・社会・音楽等の調べ学習の課題作りの手立てとして・・・様々な場面で活用できるブックトークの技術を学び、学校図書館の利活用に役立てましょう。楽しいブックトークは子どもたちにとって、学びの世界が広がる入り口です。

※持ち物：御自分がブックトークで使いたい本のうち1、2冊

### <第6分科会 大学図書館>

「学生を中心とした図書館の最適化(リデザイン)～学生の行動から学習空間とサービスを考える～」

講師 國本 千裕氏

(千葉大学アカデミック・リンク・センター リサーチ・commons推進部門特任准教授)

主体的な学習の支援は、大学図書館の重要な役割のひとつです。当分科会では、ラーニングcommonsのような新しい学習環境や、支援サービスの整備時にヒントとなる「学生の学習行動」「図書館の利用実態」の調査・改善方法(実例)を学びます。さらに自館で今後何をすべきかを共に考えていきます。